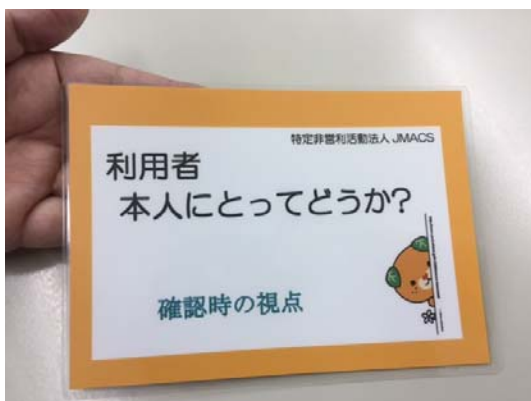


私たちは 幼児から高齢者までの豊かな生活空間を研究 実践するために松山市在住の異業種の女性たちで作った NPO 法人です。 私たちに共感し仲間に加わってくださる方たちの輪を少しでも広げる為に 私たちの活動をご紹介します JMACS 通信を季刊で発行しています。 皆様のご意見 情報をお待ちしています。

【 地域密着型サービス外部評価事業 】

愛媛県では、4月からサービス評価の新しい取り組みがスタートしています。JMACSではこれまで19件の訪問調査を行い、11件の外部評価結果を確定してワムネット (<http://www.wam.go.jp>) に公開をしています。新サービス評価は「利用者にとってどうか」という視点で評価することがポイントです。JMACSの調査員は訪問調査の折、写真のようなカードを携帯して意識できるように工夫しています。



【 介護サービス情報公表制度 】

平成29年度の介護サービス情報公表制度調査は、109件の調査を実施します。調査開始に備えて調査員研修会を7月11日に実施しました。愛媛県長寿介護課担当者を講師に迎えて、今年度初めて調査する定期巡回・随時対応型訪問介護看護を中心に研修をおこないました。9月から調査を開始し、調査結果は10月より順次厚生労働省のHP上で公開されます。このサイト上では全国の介護事業所の情報や、サービス付き高齢者住宅の情報も今年度から公開されるようになりました。ぜひご覧ください。

<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

【 遊友学舎 】

遊友学舎の子ども達は、長い夏休みも色々な経験を積んで、有意義に過ごしています。

先ず7月にはNHKに見学に行きました。色々な資料をいただき記念写真も撮っていただきました。



8月上旬には美術館のスタッフの方が、出前ワークショップとして遊友学舎に来てくれて、段ボールを使ってホールで迷路作りをしました。8月下旬には、大街道の映画館で映画を鑑賞しました。

その他、自分たちでランチやおやつを作ったり、科学実験に挑戦して「持てる水」なるものをつくってみました。これは人工いくら製の製法に通じる物です。例年のようにベンチを作って、今年は桑原地区に寄付しました。それらは、淡路が峠展望台に設置されます。朝10時まではきちんと勉強に励んでいますので、宿題はもうできていることとおもいます。

【 福祉サービス第三者評価事業 】

福祉サービス第三者評価事業は今年度、保育園2 母子生活支援施設4・児童養護施設1の7件を受託しました。事業所での説明会を終えて9月から順次訪問調査を開始します。福祉サービスの質の向上に欠かせない第三者評価ですが、保育園は現在評価が努力目標となっています。子供たちのために保育環境が少しでも向上することを願い事業を推進しています。